

ふるさと わがまち わが地域

大宮町明田 (あけだ)

■明田の歴史と伝統

平成 27 年 11 月

明田という地名は、江戸時代にさかのぼります。現在まで当地区では発掘調査が行われていないため、古代の様子は不明ですが古墳群や城址が残っています。寺は高原寺（臨済宗）があります。また神社は心木神社（しんぼくじんじゃ）・瘡森稲荷神社（かさもりいなりじんじゃ）・吉高神社があります。

▼吉高神社、心木神社、瘡森稲荷神社（左から）



▲高原寺(臨済宗 妙心寺派)



▲森本境の府道沿いにある「城ヶ越清水公園」。村づくり委員会が平成14年に東屋を建てるなど施設を整備しました。冷たくておいしい清水が湧き出ており、多くの人が訪れます。裏山は急斜面で頂上付近には明田城址があります。

■人口と世帯数：昭和55年1月と比べて人口が 79人減少。

現在

(平成27年11月)

人口 136人

世帯 49世帯

34年前

(昭和55年1月)

人口 215人

世帯 49世帯

▼十月の秋祭りには子どもたちが心木神社境内で**笹ばやし**を奉納します。(写真)
五十河地区では当区だけとなった奉納行事です。これからも地域全体で守り育て、
次代に引き継いでいきます。



力をあわせて住みよい地域に

私たちの村には、住みよい地域を願い活動するたくさんの方がいます。

平成9年に設立された明田村づくり委員会は、活性化計画づくりを初め、夏祭り、花づくり運動などで地域を担う人材育成に取り組みました。また、荒廃した竹林を活用した各種の地域産業起こしを展開するグループ、さらに田舎体験工房や宿泊体験施設・小町公園の管理運営により、高齢者の働く場の確保や婦人の生きがい活動を支援する人たちなど。手段はいろいろですが、目的は誇れる地域をつくること。これからも豊かな自然を大切にしながら、力を合わせて住みよい地域づくりに取り組みます。



バイパス建設と圃場整備が地域環境を改善

KTR 丹後大宮駅から五十河地域への最短路線となる府道657号線を北東へ車で約10分、入道峠を下ったところで道路の広がりと共にのどかな**明田(あけだ)**の田園風景が広がってきます(写真)。

当区の農家で生産されるコシヒカリも、「**丹後のコシヒカリ**」として全国食味ランキングにおいて「**特A**」のランクを獲得しています。さらに、明田村づくり委員会などを中心とした特色ある地域づくりを長年にわたり展開しています。また、17年前の平成9年に地域住民の結束力で完成したほ場整備事業と集落横を走る明田バイパス建設(写真左手)が、地域環境を大きく改善しており、今日の様々な村づくり活動を進めるための礎となっています。

写真後方は、府内最大級のブナ林を有する内山山系。その麓(五十河区)には世界三大美女の一人である小野小町を祀ったお墓や公園、民家苑があります。



■ 農業体験工房「季楽里」。

地元の NPO により平成 20 年に空家を改修して作られたもの。隣に東屋が併設されバーベキューなどが楽しめます。また、この建物の裏手に平成 23 年 4 月に完成した宿泊体験施設「**季楽里**」があります。毎年、大学のゼミ合宿も実施されています。



■おおみや小町工房。(小町体験交流館)

同 NPO で、ここでは環境循環型社会構築に向けて、伐採した竹林を活用し**竹炭**などを生産されています。販売と共に田んぼにも散布し「**竹炭米**」として好評です。

▼窯 2基のうち1基



▲婦人たちがバイパス沿いの空地を利用し 趣向を凝らしたトーテムポールを作りドライバーの、目を楽しませています。